



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 川辺株式会社

上場取引所 東

コード番号 8123 URL <https://www.kawabe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 将之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長 (氏名) 有田 二郎

TEL 03-3352-7110

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,373	4.1	0		69		22	
2023年3月期第3四半期	9,007	17.3	88		23		60	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 38百万円 (73.0%) 2023年3月期第3四半期 144百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	12.45	
2023年3月期第3四半期	33.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	12,261	6,418	52.3
2023年3月期	12,188	6,407	52.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 6,418百万円 2023年3月期 6,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				15.00	15.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,491	7.5	135	9.5	208	1.3	100	19.7	54.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	1,861,000 株	2023年3月期	1,861,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	35,657 株	2023年3月期	35,489 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	1,825,457 株	2023年3月期3Q	1,825,594 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症沈静化により社会・経済活動の正常化が一段と進み、また入国制限緩和により活発化したインバウンド需要にも支えられ回復基調に転じております。一方で、ウクライナ情勢の長期化による不安材料に加え、急激な為替の変動や資源高が進行するなど景気への悪影響が懸念される状況も続きました。

個人消費においても、行動制限等の緩和とそれに伴う観光サービス業等の需要に回復の動きがみられたものの、物価上昇懸念による節約意識が高まるなど、不安定な状況であることは、引き続き注視していく必要があると認識しております。

当社グループの主要販路である百貨店・量販店・直営店においては、外出機運や消費意欲の高まりから入店客数が増加したことや各種イベントの再開とインバウンドによって需要が盛り上がった影響もあり、一部の店舗ではコロナ禍前の売上高に近づくなど、市況は徐々に回復基調に転じております。

一方、10～12月の気温が例年に比べ高めに推移したことにより重衣料など冬物の動きが鈍く、秋冬商戦にマイナスの影響がありました。

このような状況下、当社グループにおいては、生活様式や働き方など様々な価値観の変化、デジタル化の加速によるEC拡大や非対面、非接触でのサービスなどの拡大、社会面では環境問題、少子高齢化や物価高など、様々な今後の課題に対処するために三か年計画「中期経営計画2023NEXT」を策定し、今期よりスタートいたしました。

当社グループは生産の川上から販売のリテールまでのサプライチェーン、いわゆる垂直型が強みです。それを活かし、生産性の向上、コスト削減による収益確保、さらに新たにグループ全体で取り組むオリジナルブランド強化に努め、企業価値向上と顧客満足度向上、資産価値の形成に努める目標を掲げて、1年目のフェーズに臨んでまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高93億73百万円(前年同期比104.1%)、営業利益0百万円(前年同期営業損失88百万円)、経常利益69百万円(前年同期経常損失23百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益22百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失60百万円)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

身の回り品事業

当第3四半期連結累計期間の身の回り品事業全体としては、経済活動の正常化が一段と進んだことに伴い、市場はリアル店舗を中心に回復基調に転じました。

ハンカチーフにつきましては、前期に引き続き新規取引先の積極的な開拓や百貨店平場以外でのイベント開催等による新しい売上を構築できたことに加え、インバウンド需要による一部のブランド商品の大幅な売上伸長や一部商品の価格見直し実施が効果的に売上単価アップに繋がったこと、また新たな戦略として打ち出したキャラクター商材が市場で評価いただいたことにより、売上は前年比109.7%となりました。

トピックスとしまして、5月度総合展示会にて発表した47都道府県すべてにスポットをあてそれぞれの地域の特性をハンカチーフとミニタオルのデザインで表現した商品「47 JAPAN RE DISCOVERY」が大きな反響となり、百貨店を中心にイベントやプロモーション展開することができました。

スカーフ・マフラーにつきましては、秋物市場の立ち上がりにおいてはファッショントレンドの回復によりシルクスカーフや薄手カシミアストール、無染色カシミアシリーズ、敬老の日向け商品などが順調に推移しましたが、防寒商材においてはクリスマス前後の一時期は盛り上がりを見せたものの、繁忙期である11月・12月の暖冬の影響によりシーズンを通しては厳しい市場となり、全体の売上は前年比98.4%となりました。

タオル・雑貨につきましては、前半戦はプール関連商品のラップタオルが前年を下回る結果となり、また、外出機運の高まりで、数年間成長し続けたテレビ通販部門のタオルが予想以上に厳しい結果となり、売上は前年比82.0%となりました。

この結果、身の回り品事業での売上は、前年比102.7%となりました。

フレグランス事業

当第3四半期連結累計期間のフレグランス事業につきましては、引き続き都市部を中心に主力販路である百貨店、直営店の売上が順調に推移いたしました。

今期、新たに導入した新規ブランド「CREED」による顧客獲得や、年末にかけてのギフト需要の高まりによりギフト商材、キャンドル、ディフューザー等の周辺商材の売上が好調に推移した結果、売上は前年比111.3%となりました。

全事業といたしましては、苦戦するアイテム、販路はあったものの、主軸アイテムであるハンカチーフが前年比109.7%、フレグランスが前年比111.3%となり、前年同期と比べ、売上高の増加が実現できました。

また、コスト環境は為替や原油高等の影響により、前年度に増して厳しい状況の中、生産を担うグループ会社との連携を含めコスト対策を行った上、数十年変化のなかったハンカチーフ商品の価格値上げ、その他の商品も価格見直しを行った結果、売上にマイナスの影響が出ることがなかったことに加えインバウンド需要も順調に回復したことにより、売上総利益は前年度と比較し、115.3%と大幅に上回ることができました。

一方で販売費及び一般管理費は増加の結果となりました。これは新規案件に対しての先行投資によるもので一時的な拠出となりますが、売上総利益の増加により営業利益、経常利益は共に前年同期と比べ大幅に改善いたしました。また、積極的な営業活動を行う過程で発生した未実現利益の消去や法人税等の増加があったものの、売上総利益の大幅な改善が利益構築を牽引し、親会社株主に帰属する四半期純利益も同様に大幅な改善となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における「資産合計」は、前連結会計年度末の121億88百万円から122億61百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少、商品及び製品の増加、投資有価証券の増加によるものであります。

「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加し、58億42百万円となりました。

これは主として、支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の増加、長期借入金の減少によるものであります。

また、「純資産合計」は前連結会計年度末に比べ11百万円増加し、64億18百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における総資産は、前連結会計年度末の121億88百万円から122億61百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日発表の「2023年3月期決算短信」の業績予想から変更しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,585,020	1,146,718
受取手形及び売掛金	2,360,351	2,191,097
商品及び製品	2,811,244	3,078,689
仕掛品	49,322	99,070
原材料及び貯蔵品	147,132	191,700
その他	210,057	306,460
貸倒引当金	△2,494	△1,408
流動資産合計	7,160,635	7,012,327
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	740,191	754,789
工具、器具及び備品（純額）	50,294	62,753
土地	1,099,724	1,099,724
その他（純額）	117,585	102,346
有形固定資産合計	2,007,795	2,019,613
無形固定資産	228,733	230,262
投資その他の資産		
投資有価証券	673,541	908,526
投資不動産（純額）	1,567,600	1,553,095
その他	550,611	537,840
投資その他の資産合計	2,791,754	2,999,461
固定資産合計	5,028,282	5,249,337
資産合計	12,188,917	12,261,665

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,828,723	1,950,452
短期借入金	2,098,922	2,294,873
未払法人税等	119,733	3,139
賞与引当金	31,385	-
その他	662,212	669,963
流動負債合計	4,740,977	4,918,428
固定負債		
長期借入金	486,267	356,240
退職給付に係る負債	380,481	373,051
資産除去債務	50,816	50,967
その他	122,902	144,092
固定負債合計	1,040,466	924,350
負債合計	5,781,444	5,842,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,720,500	1,720,500
資本剰余金	1,770,567	1,770,567
利益剰余金	2,814,027	2,809,382
自己株式	△54,713	△54,894
株主資本合計	6,250,381	6,245,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117,211	126,984
繰延ヘッジ損益	△11,580	△16,871
為替換算調整勘定	31,196	37,299
退職給付に係る調整累計額	20,264	25,918
その他の包括利益累計額合計	157,092	173,330
純資産合計	6,407,473	6,418,886
負債純資産合計	12,188,917	12,261,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	9,007,885	9,373,467
売上原価	5,849,502	5,730,737
売上総利益	3,158,382	3,642,729
販売費及び一般管理費	3,246,884	3,641,986
営業利益又は営業損失(△)	△88,501	743
営業外収益		
受取利息	35	78
受取配当金	8,543	10,240
投資不動産賃貸料	101,932	97,666
その他	50,069	41,530
営業外収益合計	160,580	149,515
営業外費用		
支払利息	19,972	17,322
不動産賃貸費用	60,737	53,036
持分法による投資損失	12,679	8,110
その他	1,936	2,168
営業外費用合計	95,326	80,637
経常利益又は経常損失(△)	△23,247	69,620
特別利益		
固定資産売却益	-	893
特別利益合計	-	893
特別損失		
固定資産除売却損	-	3,671
店舗閉鎖損失	5,156	-
特別損失合計	5,156	3,671
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△28,404	66,842
法人税等	31,879	44,104
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,283	22,737
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,283	22,737

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,283	22,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	199,120	9,772
繰延ヘッジ損益	△386	△5,291
持分法適用会社に対する持分相当額	11,728	6,102
退職給付に係る調整額	△6,088	5,653
その他の包括利益合計	204,374	16,237
四半期包括利益	144,091	38,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,091	38,975
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	身の回り品事業	フレグランス事業	計
百貨店	3,710,078	439,719	4,149,798
量販店	1,247,295	14,495	1,261,791
専門店、小売店その他	2,636,645	959,650	3,596,296
顧客との契約から生じる収益	7,594,020	1,413,865	9,007,885
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	7,594,020	1,413,865	9,007,885

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	身の回り品事業	フレグランス事業	計
百貨店	3,784,996	547,681	4,332,677
量販店	1,202,682	14,802	1,217,484
専門店、小売店その他	2,811,948	1,011,356	3,823,304
顧客との契約から生じる収益	7,799,626	1,573,840	9,373,467
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	7,799,626	1,573,840	9,373,467

(重要な後発事象)

該当事項はありません。